⑲日本国特許庁（JP）　⑪特許出願公開

⑫公開特許公報（A）　昭64－12856

⑤1Int.Cl.⁴　識別記号　庁内整理番号　⑬公開　昭和64年(1989)1月17日
H 02 K 57/00　8325－5H

審査請求　有　発明の数 1　（全1頁）

⑤4発明の名称　傾斜を利用して傾斜上に軌道を設置し、架線を張り電動機を軌道上に、重力を利用し走行させて発電する方法

⑳特　願　昭62－164885
㉒出　願　昭62(1987)7月1日

⑦2発明者　吉川　四郎　大阪府大阪市旭区中宮4－15－10　森永ハウス3号
⑦1出願人　吉川　四郎　大阪府大阪市旭区中宮4－15－10　森永ハウス3号

明　細　書

1. 発明の名称

傾斜を利用して、傾斜上に軌道を設置し、架線を張り電動機を軌道上に重力を利用して走行させて発電する方法。

2. 特許請求の範囲

イ傾斜を利用して、電動機を軌道上を走行させて発電する方法。

ロ傾斜を利用して重力を利用し発電する方法。

3. 発明の詳細な説明

(イ)傾斜を利用して、傾斜上に軌道を設置し、架線を張り電動機を軌道上に重力を利用して走行させて発電する方法。

(ロ)傾斜することに依り、自重を推力として重力を利用して回転エネルギが得られる。

(ハ)重力を利用するので、他から原動エネルギを求める必要がなし。

(ニ)エネルギの損失、公害が全くない。

(ホ)山、傾斜地、人工傾斜物等如何なる傾斜地も本方法に依り電気エネルギを得る生産力となすことが出来る。

(ヘ)山岳斜面が利用出来て、山岳を主電気エネルギの生産力となし得る。これに依り人類は必要とする量の電気エネルギを総べて山岳から得られる。電気エネルギは全くエネルギの損失がない公害がない。

(ト)山岳は人類に無限のエネルギを供給して頂ける。

特許出願人　吉川四郎

VENALI 202473